



MARUMOTO
会社案内

Next Package

商品の表情を彩り企業、家庭にふさわしい顔を演出する。

包装は商品に込められた心を安全に衛生的に人から人へ伝えていくメッセンジャーです。
未来の包装スタイルを常に見つめつつ、確かなメッセージを伝えていきたいと考えています。

包装ソリューション

あらゆる分野のあらゆる物をパッケージするのが私たちの仕事です。内容物による包装形態は多種多様となり、現在ではたいへん多くのパッケージ方法や材料が開発されています。

そのためひとつの包装材の誕生から廃棄までに関わる人々のことを考慮に入れ、よりよいものを開発してご提案してまいります。





8色グラビア印刷

インライン欠点検知器を装備したフルオート振分印刷機。



ドライラミネート

チャンバードクターを装備した環境に優しい次世代対応の設備にしました。

一貫した生産体制でスピーディで信頼性の高い製品を提供。
 皆さんに求められるような商品開発、包装設計・デザインを提案し、生産・流通・リサイクルまでも考えて“包む”ことに新しい価値・機能をもたらしていきます。

営業
打ち合わせ



企画
デザイン



サンプル
提供



撮影室



デジタルプリンター



立体自動倉庫



スリット

印刷・ラミネートを終えたフィルムを
カットしていく工程です。



製袋

合掌、三方、サイドウェルダーに
スリッター機を設備し、短納期対応に備えます。



グラビア
印刷



ドライ
ラミネート



製袋
加工

最終製品の袋に加工します。



グラビア印刷版

この工場から
彩り豊かな「包む」を
お届けしたい！

Timely & Market



商品化

徹底した品質管理

クリーンな環境・設備から「安全・安定」の製品が生まれます!!

品質管理

Quality Control

品質第一の製品作りでお客様に安全と安定を提供するため、ガスクロマトグラフィーによる残留溶剤の検査、ラミネート強度、シール強度測定を行なっています。リワインダー（巻返し検査機）では製造過程での欠点を取り除き、不良流出を防止します。



ガスクロマトグラフィー



引張り式シール強度測定



リワインダー（巻返し自動検査機）

衛生管理

Hygiene Control

生産ライン室に入る時にはサニテーションルームで身なりをクリーンな状態にします。手指の消毒、全身のトリミング、エアシャワーにより身体に付着した塵埃を除去し衛生的な環境を保ちます。



空気清浄システム
1時間に5回の場内空気の循環清浄をします。



サニテーションルーム



エアシャワー室



グラビア印刷 ラミネート製品



アルミボトルドパウチ

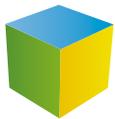


グラビア印刷フィルム群

パッケージは、製造者と消費者をつなぐメッセンジャー



電子レンジ加熱袋



包装機械

省力化、安定を生み出す多彩な包装機械

労力やコストの省力化と安定を生み出す最新の包装機械を多彩に取り揃え、お客様にご提案しています。また素材や形など多様な商品群に対応できる多目的包装をめざし、包装機械の開発と販売も行っています。長年の経験を活かしたスタッフによるアドバイスやメンテナンスなど、トータルなサポートでお客様にご利用いただいています。



ピロー包装機



自動梱包機



ラベルプリンター



金属検出器



連動式真空包装機

 **ラベル・容器・紙器**



化粧箱・ケース



ラベル製品・計量インクジェット



容器



ペーパーバッグ

 **SP 商品**

パッケージ開発から販売促進のための
計画ツールの提供までをご提案します。



セールスプロモーション・ノベルティグッズ



コマーシャルバナー



デコレーショングッズ



農業資材

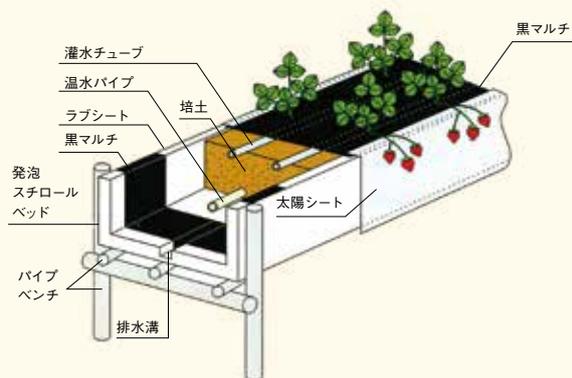
包装材の技術を元に農業資材や器具の研究・開発に積極的に取り組んでいます。
農産物の高品質で安定した収量に役立つ資材を提供します。

コンテナ類



いちご高設栽培システム

ベンチ栽培で、土づくりの手間が省け、立ったままでいちごを栽培出来ます。



OP 防曇袋・ネット・パック・鮮度保持袋
野菜や果物などの生鮮食品の鮮度を守る包装資材。



発泡ケース
内容物の保護・保温性に優れています。



ウレタンケース
いちごを一個一個、ウレタントレーで保護。緩衝効果に優れています。



鮮度保持用ノートレイパック
トレーをなくし、省資源・低コストで鮮度も保つ機能型。



トマト袋 (スタンディングタイプ)
開口部にシールを付け消費者が手に取りやすい。



いちごパック
曇らず鮮度保持を保つ。



ISO9001

求められる高品質な製品とサービスを提供し顧客満足を維持・向上させるための国際規格を取得しています。

適用範囲：管理本部・長崎営業部・福岡営業部



軟包装衛生協議会 認定工場（第241号）

2008年より福岡工場は、軟包装衛生協議会の認定工場として承認されています。

認定工場とは、会員工場において衛生管理自主基準に基づく管理が正しく行われているかを、定期的に診断・検証する制度です。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

沿革

- 1950年 2月 (昭和25年) 長崎市油屋町26番地に包装用品卸「丸本商店」として発足する。
- 1958年12月 法人に改組、「株式会社 丸本商店」となる(資本金100万円)
- 1960年 3月 福岡市にフィルム印刷と製袋の工場として「丸本化工印刷(株)」を設立する。
- 1971年10月 系列会社「丸本化工印刷(株)」を吸収合併、福岡県糟屋郡志免町大字別府に、福岡工場を建設してフィルムグラビア印刷を行う。
- 1976年 3月 称号を「株式会社丸本」に改称する。
- 1980年 3月 熊本市にフィルム印刷のための工場として「熊本グラビア(株)」を設立する。
- 1982年 6月 ドライラミネート工場として「(株)マルユ」を設立して、操業開始する。
- 1982年10月 長崎工場が完成して、操業開始する。
- 1984年 4月 大阪中小企業投資育成(株)より資本金2,000万円導入。(資本金8,000万円)
- 1987年10月 「東海包装資材(株)」の経営権を引き継ぎ東京進出を図る。
- 1993年 6月 「熊本グラビア(株)」熊本市戸島町コスモ工業団地へ新築移転する。
- 1993年 7月 福岡工場にグラビア8色機増設する。
- 1994年10月 福岡県糟屋郡新宮町へ福岡出張所を開設する。
- 2000年 2月 創業50周年を迎える。第2回「丸本環境展」を開催する。
- 2003年 2月 ISO9001を管理本部・営業部において認証取得する。
- 2006年10月 長崎工場を福岡工場製造部門に統合する。
- 2008年 6月 福岡工場を飯塚市に新築移転。8色印刷機とラミネート機を新たに増設し、操業開始する。
- 2009年 9月 東海包装資材(株)を合併吸収して新たに丸本東京営業所として営業開始する。
- 2010年12月 本社を大井手町より田中町へ移転する。
- 2011年 7月 福岡工場に欠点検知器付リワインダー・巻直し機を増設する。
- 2012年 7月 福岡営業所を糟屋郡志免町に移転し、福岡営業部を開設する。
- 2013年 6月 (株)マルユを福岡工場に統合。ラミネート部門とする。
- 2016年 1月 福岡工場にてISO22000を認証取得。(2022年終了)
- 2016年 9月 福岡工場に欠点検知器付リワインダーを増設。
- 2017年 7月 熊本グラビア(株)を熊本工場として統合。
- 2018年 1月 作業軽減機を導入する。
- 2019年 5月 東京営業所 閉鎖。
- 2021年12月 福岡工場に印刷物大判検版システム導入。
- 2022年10月 「長崎県SDGs登録制度」に登録事業者として認定。
- 2023年 3月 「健康経営優良法人2023」に認定。

それは次代へのメッセージ……

経営理念

ミッション

PACKAGE を通じて社会に貢献する。

バリュー

01 For you 顧客第一主義

顧客を起点とした意識と行動で、圧倒的な顧客満足度を追求します。

02 Be a Professional プロフェッショナル

九州 TOP クラスのパッケージ印刷のプロフェッショナル集団として技術力を高め、顧客満足度を追求します。

03 One Team チームワーク

共存共栄の精神を元にチームワークを強化し、課題を解決していきます。また部門の垣根を超えて柔軟に連携し価値を創出していきます。

04 Enjoy a Challenge チャレンジ

業界のリーディングカンパニーとして、先端技術や前例のない技術の応用に積極的に挑戦し、社員一人一人が継続的な成長にチャレンジしていきます。



管理本部・長崎営業部



福岡営業部



熊本工場

福岡工場

株式会社 丸本

本社所在地 長崎県長崎市田中町 593 番地 1
創業 昭和 25 年 2 月 15 日 (1950 年)
代表取締役 西川 暁大
資本金 8,000 万円
従業員数 120 名

事業内容 包装用フィルムのグラビア印刷・
ラミネート加工・製袋加工
包装資材の製造・販売
農水産施設・資材の販売
包装機械販売・メンテナンス
販促品の製造・販売
発泡スチロール製品販売

主要取引銀行 十八親和銀行、日本政策金融公庫
福岡銀行、三菱 UFJ 銀行
商工組合中央金庫





株式会社 丸本

管理本部

〒851-0134
長崎県長崎市田中町593-1
TEL: 095-837-1100 / FAX: 095-837-0505

仕入課

〒811-2232
福岡県糟屋郡志免町別府西1丁目2番15号
TEL: 092-410-8825 / FAX: 092-410-8831

長崎営業部

〒851-0134
長崎県長崎市田中町593-1
TEL: 095-837-8205 / FAX: 095-837-8208

福岡営業部

〒811-2232
福岡県糟屋郡志免町別府西1丁目2番15号
TEL: 092-410-4423 / FAX: 092-410-4483

福岡工場

〒820-0073
福岡県飯塚市平恒477-21飯塚工業団地
TEL: 0948-26-8300 / FAX: 0948-26-0505

熊本工場

〒861-8041
熊本県熊本市東区戸島町920-27コスモ工業団地
TEL: 096-380-5219 / FAX: 096-380-1238

株式会社 丸本

検索



<http://www.marumoto-pack.co.jp/>